

1. 略歴

- 1981.03 東京大学文学部印度哲学印度文学専修課程卒業
1981.04 東京大学大学院人文科学研究科修士課程（印度哲学）入学
1984.03 東京大学大学院人文科学研究科修士課程（印度哲学）修了
1984.04 東京大学大学院人文科学研究科博士課程（印度哲学）進学（-1989.3）
1985.07 インド・デリー大学大学院留学（文部省国際交流計画）（-1986.05）
1988.04 日本学術振興会特別研究員（-1990.03）
1994.06 博士（文学）（東京大学）
1994.10 東京大学文学部助教授
1995.04 東京大学大学院人文社会系研究科助教授
2006.01-03 School of Oriental and African Studies (University of London) 委嘱教授
2006.04 東京大学大学院人文社会系研究科教授
2007.04 東京大学文学部次世代人文学開発センター兼任教授

2. 主な研究活動

a 専門分野 b 研究課題

専門分野はインド仏教の教典形成史、および人文情報学。前者については sutra, vinaya の形成過程解明を通して初期仏教から大乘仏教にいたる思想史、社会背景史の解明を目標とする。目下の研究課題は(1)大乘仏教の形成過程および大乘仏教の特徴についての従来の研究のみならず、(2)仏教学を支える近代の仏教研究方法の問いなおし、および(3)仏教と現代の諸問題とのかかわりの考究という3点に集約される。西洋近代から生まれ、200年の歴史を有する仏教学を検証する視野のなかでこれら3点を据え、仏教学の進む新たな道を模索している。後者の課題、すなわち人文情報学については、仏教文献の電子化事業を進める過程で5年ほど前から本格的に着手。科学研究費基盤A「国際連携による仏教学術知識基盤の形成」のプロジェクトを中心に、次世代に向けた仏教学の国際的知識基盤づくりを始めた。

c 主要業績

(1) 著書

- 共編著、Sengaku Mayeda and Masahiro Shimoda (eds), *Spread and Influence of Hinduism and Buddhism in Asia*, 2010.12
編著、下田正弘、奈良康明『仏教出現の背景：新アジア仏教史 01』、佼成出版社、2010.4
編著、下田正弘、奈良康明『仏典からみた仏教世界：新アジア仏教史 03』、佼成出版社、2010.7
編著、下田正弘、奈良康明『仏教の形成と展開：新アジア仏教史 02』、佼成出版社、2010.10
編著、下田正弘、奈良康明『スリランカ・東南アジア 静と動の仏教：新アジア仏教史 04』、佼成出版社、2011.1
共著、末木文美士 編、『現代仏教の可能性：新アジア仏教史 15』、佼成出版社、2011.3
編著、桂紹隆、斎藤明、下田正弘、末木文美士『大乘仏教とは何か：シリーズ大乘仏教 1』、春秋社、2011.6
編著、桂紹隆、斎藤明、下田正弘、末木文美士『大乘仏教の実践：シリーズ大乘仏教 3』、春秋社、2011.11
編著、桂紹隆、斎藤明、下田正弘、末木文美士『大乘仏教の誕生：シリーズ大乘仏教 2』、春秋社、2011.12
共編、桂紹隆、斎藤明、下田正弘、末木文美士『認識論と論理学：シリーズ大乘仏教 9』、春秋社、2012.1

(2) 論文

- 単著、下田 正弘「他者としての仏教:可能性としての南アジア試論」、『南アジア研究』、22、158-169 頁、2010.12
共著、永崎研宣、下田正弘「東洋古典文献研究におけるデジタルテキストの適切な記述方法について」、『情報処理学会:人文科学とコンピュータシンポジウム論文集』、Vol.2010, no.15、311-316 頁、2010.12
共著、松田 訓典、彌永 信美、永崎 研宣、下田 正弘「仏教辞典『法寶義林』のデジタル化：TEI と XML DB を利用した情報の共有化に向けて」、『情報処理学会:人文科学とコンピュータシンポジウム論文集』、Vol.2010, no.15、305-310 頁、2010.12
単著、下田 正弘「〈涅槃経〉 經典群の編纂過程から照らす 〈法華経〉：〈法華経〉の構造解明のための準備として」、『法華文化研究』、36、1-18 頁、2011

- 単著、下田 正弘「経典研究の可能性を再考する:セッション No.5 の発表に対するコメント」、『日本仏教学会年報』、76、195-207 頁、2011
- 共著、永崎研宣、苫米地等流、Dorji Wangchuk, Orna Almogi, 下田正弘「人文学のためのコラボレーション:ITLR コラボレーションシステムの開発を中心的事例として」、『情報処理学会:人文科学とコンピュータシンポジウム 論文集』、Vol.2011、155-160 頁、2011

(3) 学会発表

- 国際、Masahiro Shimoda ,(with A. Charles Muller, Kōzaburō Hachimura, Shoichiro Hara, Toshinobu Ogiso, Mitsuru Aida, Koichi Yasuoka, Ryo Akama, Tomoji Tabata, Kiyonori Nagasaki), The Origin and Current States of Digitization of Humanities in Japan, Digital Humanities 2010, King' s College London, 2010.7.10
- 国内、下田正弘、「経典研究の可能性を再考する (セッション No.5 の発表に対するコメント)」、2010 年度日本佛教学会第 80 回記念学術大会、大谷大学、2010.9.16
- 国内、松田訓典、彌永信美、永崎研宣、下田正弘「仏教辞典『法寶義林』目録のデジタル化 —TEI と XML DB を利用した情報の共有化に向けて—」、人文科学とコンピュータシンポジウム 「じんもんこん 2010」、東京工業大学、2010.12.12
- 国際、Masahiro Shimoda, An Attempt on Digital Humanities in Japan through International Collaboration Concerning the Research Base for Indology and Buddhist Studies, Computers and the Humanities Symposium “JinMonCom 2010”, 2010.12.11.
- 国内、永崎研宣、下田正弘「東洋古典文献研究におけるデジタルテキストの適切な記述手法について—インド学仏教学のための学術知識基盤の構築に向けて—」、人文科学とコンピュータシンポジウム 「じんもんこん 2010」、東京工業大学、2010.12.12
- 国際、Masahiro Shimoda, General Comments on the Symposium, Conference: Buddhist Nuns in India, University of Toronto, 2011.4.16
- 国際、Kiyonori Nagasaki, Toru Tomabechi, Masahiro Shimoda, Toward a Digital Research Environment for Buddhist Studies, Digital Humanities 2011, Stanford University, 2011.6.20
- 国際、Masahiro Shimoda, The Soteriology of the Mahāyāna Mahāparinirvānasūtra, International Association for Buddhist Studies, Dharmadrum Institute (Taiwan), 2011.6.24
- 国際、Masahiro Shimoda, Knowledge Base through Cooperation: An Attempt of Digital Humanities in Japan , International Association for Buddhist Studies, Dharmadrum Institute (Taiwan), 2011.6.24
- 国際、Masahiro Shimoda, Comments on the Dhammachai Pali Tipitaka Pilot Edition, Dhammachai Pali Tipitaka Conference, Dhammachai Insitute (Thailand), 2011.7.15
- 国際、Masahiro Shimoda, ITLR and SAT in the age of Digital Humanities, Workshop of Indo-Tibetan Lexical Resources, Univerisy of Hamburg, 2011.7.20
- 国際、Masahiro Shimoda, General Comments on the Symposium, The 41st International Research Symposium “Modernity and Buddhism,” International Research Center for Japanese Studies, 2011.10.14
- 国内、下田正弘、「言語的深化と〈信〉実現の実践思想—『教信証』、真宗大谷派教学大会、大谷大学、2011.11.3
- 国際、Masahiro Shimoda, “Creating New Research Environments in International Alliance,” INKE: Research Foundations for Understanding Books and Reading in a Digital Age: Text and Beyond, Ritsumeikan University, 2011.11.18
- 国内、永崎研宣、苫米地等流、Dorji Wangchuk, Orna Almogi, 下田正弘「人文学のためのコラボレーション—ITLR コラボレーションシステムの開発を中心的事例として—」、人文科学とコンピュータシンポジウム 「じんもんこん 2011」、龍谷大学、2011.12.10
- 国際、Masahiro Shimoda, Creating New Buddhist Knowledge Environments in the Collaboration of SAT/DHII and ITLR, SAT-ITLR workshop, The Univesity of Tokyo, 2011.12.24

(4) 研究報告書・辞書・辞典・事典

- 下田正弘「古写経研究の最前線」、2010.2
- 下田正弘 (星野英紀、池上良正、氣多雅子、島藺進、鶴岡賀雄編)「教典」『宗教学事典』、丸善、2010.10

(5) 予稿・会議録

国際会議、Masahiro Shimoda, (with A. Charles Muller, Kōzaburō Hachimura, Shoichiro Hara, Toshinobu Ogiso, Mitsuru Aida, Koichi Yasuoka, Ryo Akama, Tomoji Tabata, Kiyonori Nagasaki), The Origin and Current States of Digitization of Humanities in Japan Digital Humanities, Digital Humanities 2010, King's College London, 2010.7.9 (Digital Humanities, 2010, pp. 68-70, 2010)

国際会議、Kiyonori Nagasaki, Toru Tomabechi, Masahiro Shimoda, Toward a Digital Research Environment for Buddhist Studies, Digital Humanities 2011, 2011.6.20 (Digital Humanities 2011, pp. 342-343, 2011)

(6) 総説・総合報告

下田正弘「戦前日本における仏教研究」、『宗教研究』363、80-81頁、2010.3

(7) 受賞

国際、下田正弘、Masahiro Shimoda、仏教功労賞・最高賞、Highest Decoration of Excellence、タイ国議会、the National Assembly of Thailand、2011.4.22

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

委嘱教授、Stanford University 2011.3～2011.4

(2) 学会

国内、日本デジタルヒューマニティーズ学会、会長

国内、日本宗教学会、常務理事

国内、日本印度学仏教学会、評議員、理事

国内、財団法人東方学会、評議員

国内、仏教思想学会、評議員

国内、パーリ学仏教文化学会、理事

(3) 学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員

大蔵経研究推進会議、常任議員、議長

一般財団法人人文情報学研究所、評議員

日本学術会議連携会員、2011.10

一般財団法人東京大学仏教青年会、理事

財団法人仏教伝道協会、英訳大蔵経編集委員会委員

公益財団法人石原奨学育英会、選考委員

一般財団法人仏教学術振興会、選考委員